

# 第29回全日本スピードスケート距離別選手権大会

## 要 項

2022年8月22日

最終更新: 2022年10月4日

1. 主催 公益財団法人日本スケート連盟（以下「本連盟」という。）
2. 共催 長野市
3. 後援 長野県 長野県教育委員会 公益財団法人長野県スポーツ協会 公益財団法人長野市スポーツ協会  
信濃毎日新聞社 NBS長野放送 株式会社エムウェーブ  
一般財団法人上月財団
4. 主管 長野県スケート連盟
5. 会場 長野市オリンピック記念アリーナ（エムウェーブ）  
長野県長野市北長池195 TEL:026-222-3300  
※競技会開催中に競技会場には本競技会に関する問い合わせを一切しないこと。
6. 競技距離 **【距離別選手権(SD)部門】**  
女子：500m 1000m 1500m 3000m 5000m マススタートレース(16周)  
男子：500m 1000m 1500m 5000m 10000m マススタートレース(16周)  
**【ジュニア派遣選手選考(Jr.)部門】**  
女子：500m 1000m 1500m 3000m  
男子：500m 1000m 1500m 3000m 5000m
7. 競技日程  
10月20日(木) 公式練習 10:00-11:00、11:15-12:15、14:00-15:00、15:15-16:15  
(各セッションとも開始15分後から30分間スタートトライアルを実施する)  
代表者会議 17:00 (エムウェーブ)  
10月21日(金) 公式練習 10:00-10:40、10:55-11:40  
競技開始 12:10 ①Jr.男子500m ②Jr.女子1500m ③Jr.男子5000m  
ウォームアップ(SD) 14:04-14:54 (開会宣言)  
競技開始 15:15 ④SD男子500m ⑤SD女子1500m ⑥SD男子5000m  
10月22日(土) 公式練習 6:55-7:35、7:50-8:35  
競技開始 9:05 ①Jr.女子500m ②Jr.男子1500m ③Jr.女子3000m  
ウォームアップ(SD) 10:55-11:45  
競技開始 12:05 ④SD女子500m ⑤SD男子1500m ⑥SD女子3000m  
10月23日(日) 公式練習 7:15-7:55、8:10-8:55  
競技開始 9:25 ①Jr.男子1000m ②Jr.女子1000m ③Jr.男子3000m  
ウォームアップ(SD) 10:52-11:42  
競技開始 12:05 ④SD女子5000m ⑤SD男子10000m ⑥SD女子1000m  
⑦SD男子1000m ⑧SD女子マススタートレース  
⑨SD男子マススタートレース  
※競技日程は、参加者数により変更する場合がある。
8. 競技方法  
(1) 本競技会は、国際スケート連盟(以下「ISU」という。)規則、本連盟規則及び本要項に従った距離別競技会とする。  
(2) トラックは標準400mダブルトラックCタイプとする。ただし、マススタートレース(以下「MSR」という。)については、アップレーンを含む全面を使用する。

- (3) Jr.男子3000mはカルテットスタート競技方法を採用することができる。
- (4) MSRを除く各部門各距離における同時滑走者組合せ及び滑走順は以下のとおり決定する。以下に定めのない事項についてはISU規則第239条2項、3項、及び第240条5項に従う。

ア) 組合せ、滑走順用ランキングの編成

- ① 距離ごとに、参加申込が受け付けられた競技者（以下「参加競技者」という。）について、当該距離の2022年3月31日時点の記録（ただし、高地リンクを除く。）の順位によって位置づける。
- ② 前年度記録のない参加競技者については、(4)ア)①の前年度タイムランキングの下位に続けて位置する。

イ) 組合せ及び滑走順

- ① MSRを除く各距離において同時に滑走する参加競技者は、前号によって編成されたランキングの上位の競技者から6名ずつのグループに分け、グループ毎の抽選により組み合わせる。  
Aグループ 1位－6位      Bグループ 7位－12位      Cグループ 13位－18位      等々
- ② 組のスタート順は、下位グループからとし、最後にAグループとする。

ウ) 抽選後の棄権

組合せ抽選後の棄権については、ISU規則第245条1項に従って新たな組合せ及び滑走順を決定する。

エ) 各部門とも、各距離の最終順位はISU規則第265条、第268条及び第275条に従って決定する。

(5) MSRの競技方法は以下のとおりとする。

ア) 競技方法はISU規則第257条に従う。同条に定める安全対策として、ヘルメット（ショートトラック競技の基準に適合するもの）、脛当て、手袋、ネックプロテクション、ブレードカットを義務づけるものとする。レーシングスーツはカットレジスタンスであることが望ましい。（詳細は、ISUコミュニケーションNo.2477を参照）

イ) 参加希望者はオンラインエントリーサイトで申込み、参加競技者は24名を上限とする。ただし、参加希望者が24名を超えた場合は、次の①～④に示す優先順に参加競技者を決定する。

- ① 前年度の全日本選抜ランキングポイントの合計が6位以内の者。
- ② MSRにエントリーした選手で本競技会の1500mと3000m（男子は5000m）の2つのランキングリストを並べ、いずれかの成績上位の者から順に選出。
- ③ 前記②までに参加競技者の上限である24名に達し、24番目で1500mと3000m（男子は5000m）が同順位の場合は1500mを優先する。
- ④ 1500mと3000m（男子は5000m）にタイムのない者はタイムのある者に続き、抽選によって順位付ける。

ウ) スタートは、参加競技者が6列に整列して行う。参加競技者の並び順は抽選による。

エ) 3回の中間スプリントと最終スプリントを設定し、最終順位は、第1にスプリントポイントの合計により決定し、第2に第1に続いてフィニッシュ順位により決定する。その他の順位の決定については、ISU規則第256条6項に従う。

9. 表彰 距離別選手権部門の各距離とも1位から3位までの者にメダル、賞状を授与する。

10. 参加資格

(1) 同一の距離で両方の部門に参加資格がある場合は距離別選手権部門に参加するものとする。

(2) 参加競技者数

| 部 門              |    | 500m | 1000m | 1500m | 3000m | 5000m | 10000m | MSR |
|------------------|----|------|-------|-------|-------|-------|--------|-----|
| 距離別<br>選手権部門     | 女子 | 24名  | 24名   | 24名   | 24名   | 16名   | —      | 24名 |
|                  | 男子 | 24名  | 24名   | 24名   | —     | 24名   | 16名    | 24名 |
| ジュニア派遣<br>選手選考部門 | 女子 | 20名  | 20名   | 20名   | 20名   | —     | —      | —   |
|                  | 男子 | 20名  | 20名   | 20名   | 20名   | 8名    | —      | —   |

(3) 距離別選手権

ア) 本年度の本連盟登録者であって、次の各号いずれかに該当する者を参加有資格者とする。

① 前年度の全日本選抜ランキングポイント合計が下表のいずれかに該当する者

|    | 500m  | 1000m | 1500m | 3000m | 5000m | 10000m | MSR  |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|--------|------|
| 女子 | 10位以内 | 10位以内 | 10位以内 | 10位以内 | 4位以内  | —      | 6位以内 |
| 男子 | 10位以内 | 10位以内 | 10位以内 | —     | 10位以内 | 4位以内   | 6位以内 |

② 前年度タイムランキングが下表のいずれかに該当する者

|    | 500m  | 1000m | 1500m | 3000m | 5000m | 10000m |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 女子 | 24位以内 | 24位以内 | 24位以内 | 20位以内 | 10位以内 | —      |
| 男子 | 24位以内 | 24位以内 | 24位以内 | —     | 20位以内 | 10位以内  |

イ) 次の各号いずれかに該当する者を追加有資格者とし、該当した距離のみ（参加資格距離）に参加することができる。これらの者は、(2)の外数とする。

① 本年度公式競技会のタイムランキング（2022年10月3日時点の記録、高地リンクを除く）が下表に該当する者

|    | 500m | 1000m | 1500m | 3000m | 5000m | 10000m |
|----|------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 女子 | 6位以内 | 6位以内  | 6位以内  | 4位以内  | 2位以内  | —      |
| 男子 | 6位以内 | 6位以内  | 6位以内  | —     | 4位以内  | 2位以内   |

② すでに参加資格を有している距離以外で本年度、公式競技会におけるタイムランキングが(3)イ)①に該当した距離を加えることができる。

③ 前年度の日本代表(シニア)となった者又は当該年度の本連盟強化指定選手(シニア)であって、強化部より推薦され9月開催のスピード部委員会までに承認を受け、10月12日（水）正午までに大会事務局に当該承認を受けた種目の届出を行った者。

ウ) MSRは（有資格者を優先）本競技会に参加申し込みした者すべてがエントリーすることができる。ただし、参加人数が24名を超える場合は、8.(5)イにより参加を制限する。

(4) ジュニア派遣選手選考部門

ア) 本年度の本連盟登録者であって次の各号いずれかに該当する者を参加有資格者とする。

① 前年度公式競技会の成績が下表のいずれかに該当する者

| 対象競技会                |    | 500m | 1000m | 1500m | 3000m | 5000m |
|----------------------|----|------|-------|-------|-------|-------|
| 全日本ジュニアスピードスケート選手権大会 | 女子 | 8位以内 | 8位以内  | 8位以内  | 8位以内  | —     |
|                      | 男子 | 8位以内 | 8位以内  | 8位以内  | —     | 3位以内  |
| 各全日本選抜スピードスケート競技会    | 女子 | —    | —     | —     | —     | —     |
|                      | 男子 | —    | —     | —     | 8位以内  | —     |
| 全国高校総体スケート競技選手権大会    | 女子 | 8位以内 | 8位以内  | 8位以内  | 8位以内  | —     |
|                      | 男子 | 8位以内 | 8位以内  | 8位以内  | —     | 3位以内  |
| 全国高校選抜スピードスケート競技会    | 女子 | 6位以内 | 6位以内  | 6位以内  | 6位以内  | —     |
|                      | 男子 | 6位以内 | 6位以内  | 6位以内  | 6位以内  | 優勝者   |
| 全国中学校スケート大会          | 女子 | 3位以内 | 3位以内  | 3位以内  | 3位以内  | —     |
|                      | 男子 | 3位以内 | 3位以内  | 3位以内  | 3位以内  | 優勝者   |

② 前年度ジュニア対象年齢競技者のタイムランキング（高地リンクを除く。）が下表のいずれかに該当する者

|    | 500m  | 1000m | 1500m | 3000m |
|----|-------|-------|-------|-------|
| 女子 | 20位以内 | 20位以内 | 20位以内 | 20位以内 |
| 男子 | 20位以内 | 20位以内 | 20位以内 | 20位以内 |

③ 男子5000mで参加競技者が8名に満たない場合、前年度当該距離のジュニアタイムランキングから上位者

を加えるものとする。

イ) 次の号いづれかに該当する者を追加有資格者とし、該当した距離のみ（参加資格距離）にエントリーすることができる。この場合、これらの者は(2)の外数とする。

- ① 参加有資格者以外であって、本年度ジュニアタイムランキング（10月3日時点。高地リンクを除く）が下表のいずれかに該当する者。この場合、すでに取得した距離にさらに加えることができる。

|    | 500m | 1000m | 1500m | 3000m | 5000m |
|----|------|-------|-------|-------|-------|
| 女子 | 6位以内 | 6位以内  | 6位以内  | 4位以内  | —     |
| 男子 | 6位以内 | 6位以内  | 6位以内  | 4位以内  | 4位以内  |

- ② 前年度の日本代表(ジュニア)となった者又は当該年度の本連盟強化指定選手(ジュニア)であって、強化部より推薦され9月開催のスピード部委員会までに承認を受け、10月12日（水）正午までに大会事務局に当該承認を受けた種目の届出を行った者。

- ③ ジュニア対象選手で両方の部門に参加資格を有する距離にあっては、距離別選手権部門への参加とする。

(5) 本競技会は派遣選手選考競技会のため、外国籍選手の特別参加は認めない。

## 11. 参加距離

- (1) 参加資格を取得した距離（以下「資格取得距離」という。）について参加することができる。~~ただし~~、ジュニア派遣選手選考部門についてはISU規則第108条2項に定めるジュニア対象年齢（2003年7月1日以降、2008年6月30日生まれまでの者）の者のみが参加することができる。ただし、2008年7月1日以降に生まれた者であっても、10(4)により有資格者となった者は本競技会への参加を特別に認める。

※派遣選手については、2022-23シーズン国際競技会派遣選手選考基準に従って選考される。

- (2) 女子5000m及び男子10000mの参加競技者は最大16名とする。

ア) 参加申込者が16名を超えた場合は、次の優先順で16名を参加競技者とする。

- ① 本競技会の女子3000m又は男子5000mの6位以内の者。  
② 当該距離の前年度タイムランキング上位の者。

イ) 本連盟のスピード部委員会が認めた距離は上記に定めた競技参加者最大数の外数とする。

## 12. 参加申込

- (1) 参加資格を有する者であってはJSFマイページ（<https://www.skatingjapan.jp/mypage/>）の競技会参加申込サイト(以下「サイト」という。)で申し込むこと。

ア) 参加申込する距離により、「距離別選手権部門(SD)」、「ジュニア派遣選手選考部門(Jr)」両方への参加申込を要する。

イ) 参加申込完了直後に参加申込者の登録されたメールアドレスにサイトから自動送信される参加申込受理の通知（以下「受理通知」という。）を受けること。受理通知が送付されない場合は、システム問合せ先に問合せること。また、メールアドレスを登録していない者は、マイページで正常に申し込みがなされたかを確認すること。受理通知は最初の代表者会議が終了するまで保管しておくこと。

ウ) 参加申込前に参加申込の内容修正又は取り消しを行う場合はサイトで行うこと。この場合もイ)同様に受理通知を受け取り保管すること。(サイトへのログインは、参加申込締切日の正午までとする。)

エ) 参加申込締切後に参加を取り消す場合は、必ず大会事務局へ棄権届出書を提出すること。

オ) 大会事務局

全日本スピードスケート距離別選手権大会事務局

〒381-0025 長野県長野市北長池195 エムウェブ内

TEL : 026-267-0288 FAX : 026-267-0289 E-mail : info@skating-nsa.jp

本連盟事務局

公益財団法人日本スケート連盟

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 Japan Sport Olympic Square

TEL : 03-5843-0415 FAX : 03-5843-0416 E-mail : jsf@skatingjapan.or.jp

カ) 参加申込状況は参加申込締め切り後、本連盟ウェブサイト公開する。

- (2) 参加申込料は参加申込者名の銀行振込で支払う（銀行振込に限る）ものとし、振込手数料は申込者の負担とする。  
ただし、複数の申込者を一括して支払う場合は、参加料振込明細書を大会事務局へ送付すること。
- ア) 参加申込料            1名 1距離 5,000円        3距離以上 15,000円
- イ) 申込先                金融機関名： 八十二銀行 南長池支店  
口座番号： 普通 2 1 2 9 9 7  
名義： スケート大会長野事務局 事務局代表 渡辺 勇（ワタナベ イサム）
- ウ) 参加申込料は10月5日（水）までに振り込むこと（未納の者にあつてはこれを徴収する）。
- エ) 本連盟スピード強化部からの推薦を受け、スピード部委員会が認めた距離の参加申込料は10月12日（水）までに振り込むこと。
- オ) 参加申込締め切り後はいかなる場合も支払われた参加申込料は返還しない。ただし、参加人数制限により参加できなくなった当該距離分の参加申込料や本連盟が認めた者はこの限りではない。返還される場合の振込手数料は主催者の負担とし銀行振込とする。
- (3) 参加申込締切            2022年10月5日（水） 正午        ※受付開始：2022年9月6日（火）
- (4) ID申請書及び駐車証申請書（送迎車両に限る）に必要事項を記載のうえ、参加申込締切までに電子メールにより大会事務局へ送付すること。
- (5) 中学生以下の者にあつては、サイトから出力した参加申込書（副）の**親権者署名欄に親権者が自署**した参加承諾書の**原本**を最初の代表者会議までに大会事務局へ提出すること。
- (6) 参加申込が遅延した者又は参加申込が不完全な者は本競技会への参加を認めない。
- (7) 参加申込にかかる個人情報、個人情報の保護に関する法律・関連法令を遵守し、競技運営以外の目的には使用しない。
13. 宿 泊        各自手配すること。
14. その他
- (1) 本連盟の「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策としてのスポーツ活動再開ガイドライン」を基に、競技会開催地の都道府県関係局の指示を仰ぎながら、その施設や地域の実情に合わせた「感染拡大防止対策」に取り組むものとする。遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する観点から、参加を取り消したり、途中退場を求めることがある。
- ア) 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。
- ① 体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- ② 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
- ③ 過去3日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等から帰国した場合
- イ) マスク（不織布が望ましい）を持参すること。
- ウ) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を徹底すること。
- エ) 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（2mを目安に：最低1m）を確保すること。
- オ) 競技会開催中は大きな声で会話、応援等をしないこと。
- カ) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従う。
- キ) 本競技会終了後1週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- ク) 本連盟は本競技会に関わるすべての人の新型コロナウイルス感染症に対するいかなる責任も負わない。
- (2) 本競技会全日程中の事故等については応急処置のみとし、責任は負わない。
- (3) 本競技会への参加に際して、スポーツ傷害保険等に必ず加入していること。

(4) ドーピング検査について

- ア) 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
- イ) 本競技会参加者（18歳未満の競技者を含む。以下同じ）は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。  
18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなす。
- ウ) 本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯すること。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイト（<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>）もしくは本連盟ウェブサイトイベントページよりダウンロードできる。18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出すること。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出ること。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出すること。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとする。
- エ) 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- オ) 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意すること。
- カ) 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト（<https://www.playtruejapan.org>）にて確認すること。
- (5) 本連盟主催競技会への参加に際しては、各自でアームバンド（4色）を用意すること。
- (6) 公式競技会への参加に際しては、バッジテスト級認定証を携行すること。
- (7) 本競技会の成績により、次の競技会への派遣選手の選考対象とする。
- ア) 2022/2023 ISUワールドカップスピードスケート競技会 第1戦から第4戦
- イ) 2022 ISU四大陸スピードスケート選手権大会
- ウ) FISUワールドユニバーシティーズゲームズ（2023/レークプラシッド）
- エ) 2022/2023 ISUジュニアワールドカップスピードスケート競技会 第1戦、最終戦
- オ) 2023 ISU世界ジュニアスピードスケート選手権大会

この大会は、「ながの夢応援基金」を活用しています